

自費義歯診療 製品リスト



入れ歯の導入のメリット

入れ歯を導入することで得られるものは「失った部分の歯」だけではありません。歯を失うことで顔つきに変化が生じたり、発音も難しくなります。そのうち笑顔も消極的になり、外で人と会う回数も減少してしまいます。しかし入れ歯を装着することで失われた機能を回復し、これらの悩みを解消させることができます。



“自費の入れ歯”という選択肢

保険入れ歯の最大に利点は費用を抑えられることです。しかし治療方法や材質が限られており、残っている歯への負担も時間経過とともに大きくなります。自費治療は機能や見た目の美しさに優れ、治療方法や材質も自分好みに選択することができます。

患者さまの口腔内の状況によってはご希望に添えない場合もございます。詳しい説明をお求めの方は、お近くのスタッフへお気軽に尋ね下さいますようお願いいたします。



義歯（入れ歯）タイプ

保険の入れ歯は材質や種類などの制限があるため、患者さま一人ひとりにあつた製品をお届けすることができないケースが多くなります。一方、自費の入れ歯は材質などの制約もないため、患者さまに最も適した方法で治療できます。それによって咬むことはもちろん、発音や味覚、予後に至るまで保険の入れ歯とは全く異なる製品になります。金額などは症例によって細かく分かれていますので、スタッフへお気軽にお問い合わせください。

自費

金属のクラスプ（留め金）を使わず、体に優しい素材で固定する

様々な材質から選ぶことができる

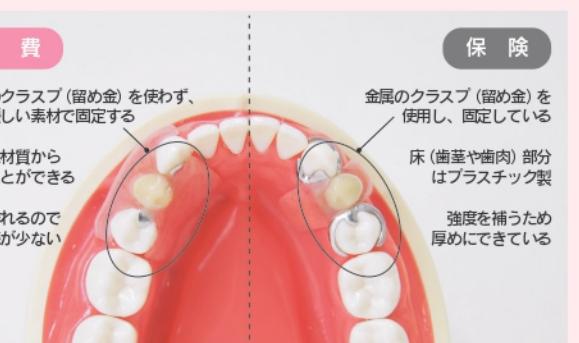
薄く作れるので違和感がない

保険

金属のクラスプ（留め金）を使用し、固定している

床（歯茎や歯肉）部分はプラスチック製

強度を補うため厚めてきている



ノンクラスプデンチャー



弾力性がある材質を使っており、金具を全く使用せず見た目も自然に見える新しいタイプの義歯です。吸水性が少ないので嫌な

においを抑えることができます。価格帯は低く設定されていますが、歯肉の形などで適応できない場合もあります。

メタルプレート（金属床）



金属製で強度があり極薄く製作できます。それにより熱伝導率もよくなり味覚障害も減少するほか、薄いので発音もよくなります。コバルトクロム合金と超軽量純チタンメタルの設定があります。総義歯はもちろん、部分義歯にも設計ができます。

耐久性

4

価格

耐久性

9

価格